

## 災害時やイベントなどで活用

### トーカドエナジー株式会社が蓄電システムを寄贈

8月21日、トーカドエナジー株式会社の藤川太郎副社長が市役所を訪れ、災害時に備え、白石工場で製造したリチウムイオン蓄電システム1台を市に寄贈しました。同社は、東日本大震災の経験を経て、家庭用電源で充電できるリチウムイオン蓄電池を昨年春に製品化。市に寄贈されたのは蓄電容量2.2kwhの製品で、50wの電化製品であれば連続23時間使用可能なもの。藤川副社長は、「非常時だけでなく、屋外のイベントなどで活用してください」とあいさつ。風間市長は、「有効に活用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。



▲風間市長に蓄電システムを寄贈する藤川副社長（右）

## 白石ビッキーズが全国大会出場

### 第10回全日本一般男子ソフトボール大会

8月9日から12日の4日間、山形県酒田市などを会場に行われた「第10回全日本一般男子ソフトボール大会」に、本市の「白石ビッキーズ」が宮城県第2代表として出場しました。1回戦は、広島県代表の「FLAT」と対戦。今大会3位に終わったFLATを相手に、全員で攻め、守りましたが1対0で惜しくも敗れました。

白石ビッキーズの中沢さんは、「強豪相手に接戦で戦うことができ、自分たちの実力が全国レベルにあることを実感しました。練習試合などで力をつけて、また来年も全国に臨みたいと思います」と話してくれました。



▲明るく楽しくがモットーの「白石ビッキーズ」！

## 広範囲な知識を深め福祉ニーズに応える

### 仙南4市民生委員児童委員協議会会長交流研修会

8月29日、角田・岩沼・名取・白石の4市で構成する仙南4市民生委員児童委員協議会主催の「仙南4市民生委員児童協議会会長交流研修会」がホワイトキューブで行われました。この日は、東日本大震災で大きな被害を受けた名取市の「被災者見守り活動」の取り組みに関する情報交換が行われほか、白石益岡ライオンズクラブ（高橋恵美子会長）の富岡弘さんが「薬物乱用の現状」を講話。参加者は、沿岸部の被災地への活動支援や、薬物が深刻で身近な問題であることに耳を傾け、熱心に意見交換を行っていました。



▲薬物乱用の現状を話す富岡さん

## 鬼小十郎まつりに50万円を寄付

### アサヒグループホールディング(株) 社会貢献活動

9月10日、アサヒグループホールディング株式会社（本社東京・泉谷直木代表取締役社長）の社会貢献活動の一環で、アサヒビール株式会社仙台支社の大西恒市支社長が市役所を訪れ、鬼小十郎まつりに役立ててほしいと50万円の寄付目録を風間市長に手渡しました。アサヒグループホールディング株式会社は、長期におよぶことが見込まれる東日本大震災の被災地復興への支援活動に継続的に取り組み、被災地のニーズに対応した活動を支援。大西支社長は、「観光人口の増大、地域活性化に役立てていただきたいと思います」と話していました。



▲風間市長に寄付目録を贈呈する大西支社長（左）

## 酷暑をしのぐ「緑のカーテン」

### 南保育園でゴーヤの収穫

8月28日、南保育園で6月7日に園児たちが苗を植えたゴーヤが大きく育って「緑のカーテン」に成長し、5歳児の園児22人がゴーヤの収穫を行いました。同園では4年前から、夏場の保育室の温度上昇抑制と節電を目的にゴーヤを栽培。今年は園舎の南側と東側3カ所、合わせて幅17メートルに苗35本を植え付け、ゴーヤは高さ7mまで育ち「緑のカーテン」になりました。この日園児たちは、「ボランティアみなみの会」の皆さんと一緒にうれしそうにゴーヤを収穫。収穫したゴーヤ20本は、園児たちが近所の方々にプレゼントしました。



▲大きく実を付けたゴーヤをうれしそうに収穫する園児

## 弓道で心を鍛える

### 第44回全日本教職員弓道選手権大会で優勝

8月23日、白石第二小学校教諭の高橋純子さんが市役所を訪れ、風間市長に8月10日・11日の2日間、米沢市で開催された「第44回全日本教職員弓道選手権大会」個人女子の部で優勝したことを報告しました。

高橋さんは、予選通過者48人が1人1射を放ち、的に当たった人が勝ち残る「射詰め競射」方式で行われた決勝を見事勝ち抜き優勝。「弓道の魅力は、自分の精神面を鍛えられること。常に満足のいく1射を多く打てるよう、これからも技術と心を鍛えていきたいです」と、笑顔で話していました。



▲風間市長に全国大会優勝の報告をする高橋さん（前列左）

## 敬老の思い届ける

### メガネの相沢が老眼鏡を寄付

9月11日、株式会社メガネの相沢（本社仙台市、相沢博彦代表取締役社長）の伊東敏男白石セラピ店長が市役所を訪れ、老眼鏡引換券20組の目録を風間市長に手渡しました。同社は、敬老の日に合わせ高齢者福祉の一助になればと、毎年店舗のある県内外の市町に老眼鏡を贈り続け、本市への寄贈は今回で20回目。今年も本市をはじめ県内外の16市町に約420組を贈るほか、高齢者福祉施設で眼鏡や補聴器の調整も行われています。市は毎年、各民生委員を通じて担当地区順に、老眼鏡を必要とされる方に引換券を配布。同社の思いを届けています。



▲風間市長に老眼鏡引換券の目録を手渡す伊東店長（左）

## 和楽器の音色がやさしく会場を包む

### 壽丸屋敷で津軽三味線・笛DUOコンサート

9月7日、「津軽三味線・笛DUOコンサート 木村俊介×小野越郎DUO」が壽丸屋敷で行われました。この日は、市内在中の津軽三味線奏者の小野さん、東京在住の和楽器奏者の木村さんの演奏を生で聞こうと、約80人が来場。幻想的な和紙明かりに照らされた会場で、息をみつかせぬ超絶技巧と深い表現力、作品の高い芸術性やオリジナリティーが、国内はもとより、海外公演においても絶賛を博している二人の演奏に、聞き入っていました。小野さんは10月5日に開催される「鬼小十郎まつり後夜祭」にも出演されます。



▲津軽三味線奏者の小野さん（左）と和楽器奏者の木村さん（右）